

平成 20 年度 第 3 回理事会 議事録

I. 会議名 : (社) 日本地すべり学会 平成 20 年度第 3 回理事会

II. 開催日時 : 平成 21 年 3 月 6 日 (金) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分

III. 開催場所 : 学士会館 203 号 (東京都神田錦町 3-28)

IV. 出席者 : 理事出席 21 名○、理事委任状 11 名△、監事出席 1 名○、監事委任状 1 名△

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	丸井 英明	○	理事	櫻井 正明	△	理事	前田 寛之	○
理事	吉松 弘行	○	理事	末峰 章	○	理事	松浦 純生	△
理事	広嶋 孝也	○	理事	田尾 秀夫	△	理事	宮城 豊彦	○
理事	綱木 亮介	○	理事	千木良雅弘	△	理事	森脇 寛	
理事	阿部 真郎	○	理事	千葉 則行	△	理事	八木 浩司	○
理事	伊藤 驍	△	理事	土屋 智		理事	山岸 宏光	
理事	岩尾雄四郎	○	理事	寺田 秀樹	△	理事	山崎 孝成	○
理事	鶴飼 恵三	○	理事	東畑 郁生	△	理事	山本 哲郎	△
理事	岡本 正男	○	理事	中村 浩之	○	理事	横山 俊治	△
理事	奥山 武彦	○	理事	西村 一徳	△	監事	上野 将司	○
理事	小野 慎吾	○	理事	日浦 啓全	○	監事	若井 明彦	△
理事	宜保 清一	○	理事	檜垣 大助	○			
理事	佐々 恭二	○	理事	福岡 浩	○			

議事録署名人として、末峰章理事と檜垣大助理事を選出した。

前回の議事録案を確認し、原案が承認された。

I. 議題

I-1. 次年度事業の運営について

(1) 平成 21 年度事業計画について

総務部長より、平成 21 年度の各部・各支部の事業計画（案）が説明された。

国際部の活動については、学会が国際的評価を得るような活動を積極的に行っていくことが必要との意見が出された。

協議の結果、事業計画が承認された。

(2) 平成 21 年度予算案について

総務部長より、平成 21 年度の各部・各支部の事業計画に基づく収支予算案が説明された。

予算案に対して、支部への交付金削減に代わる幹事会旅費の計上漏れと研究委員会費集計ミスが指摘され、これらを修正した上で承認された。

I-2. 公益活動の強化・推進について

会長より、公益活動の強化・推進の方策として、地震地すべりプロジェクト及びこれを推進するための基本財産の活用について説明がなされた。

これらの強化・推進策が承認され、運用上整備が必要である「基本財産管理規程」の制定が承認された。

I-3. 新公益法人制度対応について

会長より、学会としては新法人法に基づき法人として申請するに当たっては、公益法人として申請する方向性が示され、協議の結果、地すべり学会としては公益法人を目指していくことが決議された。

また事務局から、新法人法で申請するに当たり必要となる定款改定(案)が説明され、次回 4 月の理事会で最終案とし承認を受け、5 月の総会で決議に諮る行程が了承された。

I-4. 平成 22 年度研究発表会開催地について

平成 22 年度開催担当の西日本グループ九州支部長より、沖縄県にて開催することが決定した旨が報告され、今後事業計画部と連携して準備を進めていくことで了承された。

I-5. 中国甘肅省研究者との交流・共同研究について

吉松副会長から、甘肅省地質災害研究所との共同研究推進の経緯について説明がなされた。今後、「地震を起因とする地すべり発生機構の解明と地震災害復興」に関する交流・共同研究を地震地すべりプロジェクトを中心に進めていくことが承認された。

I-6. その他の重要案件

(1)総会定足数確保対策について

事務局より、3/5 現在の委任状回収状況が説明された。

定款変更など重要案件の決議があるため、関係者に積極的な声掛けを行い、総会参加・委任状提出を働きかけていくことが了承された。

(2)学会賞候補選定状況について

学会賞候補は現在推薦募集中で、5/8 の締め切りを待って検討を行う旨が報告され了承された。

(3)支部への交付金変更（支部長旅費充当）について

執行部から支部長の幹事会出席旅費の支給(2回)と、その原資を本部交付金の10万円とし、新年度から運用するとの提案が説明され、支部への交付金を一律20万円とすることが了承された。

Ⅱ. 報告

企画委員会・各部・各支部の報告は、添付資料で確認することです承された。

会員はほぼ横ばいであることが報告され、入退会者の記録は添付資料で確認することです承された。

以 上

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩